



世界が熱狂する大ヒットミュージカル

MJ ザ・マイケル・ジャクソン・ミュージカル

2027年1月、日本からインターナショナル・アジアツアー開幕

東京・東急シアターオーブにて上演

世界800万人以上が観劇、トニー賞4部門受賞。

マイケル・ジャクソンの名曲、創造性、そして比類なき芸術性が、圧倒的な舞台体験としてよみがえる。

「スリルに満ちた舞台」

The New York Times

「見事な振付と鮮烈な表現力。目を奪うほどの興奮と高揚が押し寄せる」

Chicago Tribune

「爽快！ 劇場を出る頃には、心が弾むような高揚感に包まれる」

Rolling Stone

オリジナル・ブロードウェイ・プロデューサーのLia Vollack（リア・ヴォラック）、John Branca（ジョン・ブランカ）とMichael Cassel Groupは本日、トニー賞4部門受賞作『MJ ザ・マイケル・ジャクソン・ミュージカル』が、2027年1月、東京・東急シアターオーブを皮切りにインターナショナル・アジアツアーをスタートすることを発表しました。東京で行われる日本公演は、木下グループ、John Gore Organization、吉井久美子により上演され、木下グループにより主催されます。

東京公演は、『MJ』のインターナショナル・アジアツアーの幕開けであり、本作が世界へと広がる歩みにおける、新たな章の始まりとなります。これまでに世界800万人以上が、NY・ブロードウェイ、ロンドン・ウエストエンド、ハンプルク、全米ツアー、さらにオーストラリア各地で完売を記録した公演を含む『MJ』を体験してきました。

今回のインターナショナル・アジアツアーには、世界各地の『MJ』プロダクションで活躍してきたパフォーマー、ミュージシャン、クリエイティブスタッフ、クルーが集結。世界的な成功を築いてきた『MJ』のスケールを体現する、ワールドクラスのカンパニーが結集します。

『MJ』の東京公演は、マイケル・ジャクソンと日本が長年にわたり築いてきた特別なつながりを受け継ぐものでもあります。本作で描かれるのは、マイケル・ジャクソンのキャリアを象徴する「Dangerous World Tour」の舞台裏。東京ドームで歴史的な8公演を行ってから30年以上の時を経て、そのキャリアを決定づけた時代の物語が、日本の観客のもとへ帰ってきます。

世代を超えて人々を魅了し続ける、マイケル・ジャクソンの音楽と芸術性。その魅力は今なお色褪せることなく、今年公開され記録的な成功を収めた伝記映画『Michael／マイケル』によって、その物語は日本でも新たな世代の観客へと広がっています。

本公演では『Beat It』『Smooth Criminal』『Man in the Mirror』『Thriller』をはじめ、マイケル・ジャクソンを代表する25曲以上の名曲をフィーチャー。革新的なストーリーテリング、エネルギーに満ちたパフォーマンス、そして史上最も大きな影響を与えたエンターテイナーの一人であるマイケル・ジャクソンへのオマージュを通じて、『MJ』は世界各地の満員の劇場で観客の心と想像力を魅了してきました。

演出・振付 クリストファー・ウィールドン OBE コメント

「日本ではこの30年間、バレエやミュージカルの創作、そして舞台に立つことを通して、かけがえのない経験を重ねてきました。『An American in Paris』を上演したオーブに戻ることは、まるで故郷に帰ってくるような気持ちです。

『MJ』には、これまでとはまた違う、特別なエネルギーがあります。日本の皆さんにその熱量を感じていただけることを、今から心待ちにしています。この素晴らしいキャストが全力でお届けするステージを、ぜひ体感してください。1月にお会いしましょう。」

1992年を舞台にした『MJ』は、マイケル・ジャクソンの象徴的な「Dangerous World Tour」が生まれるまでの舞台裏を描きます。世界中を魅了したダンスやヒット曲だけでなく、マイケル・ジャクソンを伝説的な存在へと押し上げた創造力と、仲間たちとの創作の過程に迫ります。

物語は、リハーサル現場への特別な取材を許されたMTVジャーナリストの視点を通して展開。ピューリッツァー賞を2度受賞した劇作家Lynn Nottage（リン・ノッテッジ／『Ruined』『Sweat』）の脚本により、「Dangerous World Tour」を自身の創造性を余すことなく表現するステージへと創り上げようとするマイケル・ジャクソンの姿を通して、その複雑な人生の一端を描き出します。

世界800万人以上を魅了してきた『MJ』は、革新的な振付と舞台表現で世界的に高い評価を獲得。トニー賞では、クリエイターであり演出・振付を手がけるChristopher Wheeldon OBE（クリストファー・ウィールドン OBE）が最優秀振付賞を含む4部門を受賞しました。

さらにロンドン・ウエストエンドでは、ウィールドンがローレンス・オリヴィエ賞 最優秀演劇振付賞を受賞。現代ミュージカルを代表する創造的成果のひとつとして高く評価され、ブロードウェイ、ウエストエンド、ハンプルク、全米、オーストラリアで観客を魅了してきました。

世界的に活躍するクリエイティブチーム

『MJ』を創り上げるのは、世界の第一線で活躍するクリエイティブチームです。

舞台美術はトニー賞・エミー賞2度受賞のDerek McLane（デレク・マクレーン／『Moulin Rouge! The Musical』）、照明デザインはトニー賞6度受賞のNatasha Katz（ナターシャ・カツ／『Once』）、衣裳デザインはトニー賞・エミー賞・アカデミー賞受賞のPaul Tazewell（ポール・タズウェル／『Hamilton』『Wicked』）、音響デザインはトニー賞・オリヴィエ賞受賞のGareth Owen（ギャレス・オーウェン／『Come From Away』）が担当。

さらに、映像デザインはトニー賞2度ノミネートのPeter Nigrini（ピーター・ニグリーニ／『Dear Evan Hansen』）、ヘア＆ウィッグデザインはエミー賞2度ノミネートのCharles LaPointe（チャールズ・ラポイント／『The Color Purple』）、メイクアップデザインはJoe Dulude II（ジョー・デュルード II）。音楽監修はトニー賞ノミネートのDavid Holcenberg（デヴィッド・ホルセンバーグ／『Matilda』）、オーケストレーション＆編曲はDavid Holcenbergとトニー賞受賞のJason Michael Webb（ジェイソン・マイケル・ウェッブ／『The Color Purple』）が手がけます。

公演日程およびチケット発売情報は、東京公演に向けて順次発表いたします。

最新情報・詳細は、公式サイト（<https://mjthemusical.jp/>）をご確認ください。

東京公演概要

公演名	MJ ザ・マイケル・ジャクソン・ミュージカル
オリジナル・ブロードウェイ・プロデューサー	Lia Vollack / John Branca / John McClain
発表	Lia Vollack / John Branca / Michael Cassel Group
企画/プレゼンター/プロデューサー	木下グループ / John Gore Organization / Kumiko Yoshii
主催	木下グループ
会場	東急シアターオーブ（東京） 〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1 渋谷ヒカリエ11階
公演期間	2027年1月（詳細は後日発表）
公式サイト	https://mjthemusical.jp/
公式SNS	X : https://x.com/mjthemusicaljp Instagram : https://www.instagram.com/mjthemusicaljp/
クレジット	

※主催者については、今後追加となる場合があります。

本プレスリリースの画像は下記よりDLしてご利用くださいませ。

https://www.dropbox.com/scl/fi/gheauxdc759c9d4mvvumm/MJ_MUSICAL_KV_re_V1.png?rlkey=hibzt5d1zg70c6ptlc0f9jpln&dl=0

【本プレスリリースに関するお問合せ】 ディスクガレージ：北浦大介/天池麻依子

【MAIL】 d-kitaura@diskgarage.co.jp / m-amaike@diskgarage.co.jp

【TEL】 03-5447-8277(代)

【映画『Michael／マイケル』に関するお問い合わせ】

ご紹介いただく際に映画素材をご希望の場合は、下記までお問い合わせください。

■ TV：キノフィルムズ 今井

■ 紙・WEB：キノフィルムズ 仙波

TEL：03-6459-2671、メール：senden-mc@kinofilms.jp